

城南まちづくり協議会だより



城南まちづくり協議会事務局

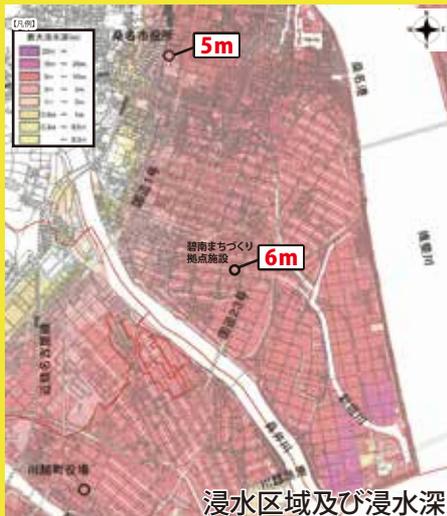
城南まちづくり拠点施設内

☎0594-22-0034

2020年(令和2年)9月1日

ハザードマップから死者ゼロへ

・なぜ急に今、5m以上の浸水深で一週間以上 ・高台に逃げる以外の選択肢はない



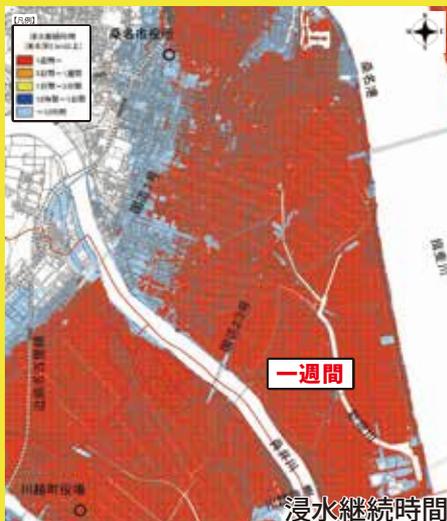
会長 8月6日三重県公表の「高潮浸水想定区域図」では城南まちづくり拠点施設が約6m、城南干拓の一部では10m以上、市役所本庁舎でも約5m浸水するという想定になっていますが、どのような規模の台風だとこんな想定図になるのでしょうか？

桑名市防災・危機管理 課長

まず、この想定の前提条件となる台風の規模についてご説明しますと。

- ①室戸台風規模の台風(上陸時後910ヘクトパスカルを維持)
- ②伊勢湾台風並みのスピード(毎時73km)
- ③その地域にとって最悪のコースで襲来する、という台風を想定したものです。

このような台風が本当に来るのかと思われるかもしれませんが、最近の気象の状況や地球温暖化による猛暑で海面温度が上昇していることを考えると起こり得るでしょう。



会長 添付の2つの「高潮浸水想定区域図」を見ますと、城南地区は殆どが5m以上の浸水深で一週間以上浸水が継続する想定になっていますが、単刀直入にお尋ねして住民はどうすればいいのでしょうか？

課長 このような規模の台風が襲来したら、この地域のみなさまは高台に逃げる以外の選択肢はありません。台風が発生し、気象庁がニュース等で「スーパー伊勢湾台風」「室戸台風レベル」などのキーワードで警戒を呼びかけた場合は避難する準備を始めてください。特に今回の想定のような高潮が発生する場合は、気象庁から「高潮特別警報」が早い段階で確実に発表されると聞いていますので、次のような避難対策を取っていただきますようお願いいたします。

①「気象庁が会見などで高潮特別警報の発表可能性について言及」したら、**明るい時間帯に避難勧告や避難指示**を出しますので避難を開始してください。

② 城南地区のみなさまは浸水想定区域から出て高台に避難してください。高台のまちづくり拠点施設や小中学校、高校などを避難所として開設しますが、**収容できる人数には限りがあります**し、不特定多数の方が集まる避難所は新型コロナウイルスに感染する危険性がないとは言えません。できれば**高台にお住まいのご親戚やご友人**を頼って避難していただきたいと考えています。車中避難を希望される方のために「**イオンモール桑名**」の**立体駐車場**を避難場所として提供いただける協定を結んでいますので、こちらをご利用いただけます。

③ 高台に避難する手段がないご高齢の方々等のために、このような規模の台風が襲来した場合は「**広域避難バス(三重交通)**」を運行します。この地区にお住まいの方は、城南まちづくり拠点施設でバスにお乗りいただき、大山田まちづくり拠点施設などに避難していただきます。

④ 「**高潮特別警報**」が発表されると同時にバスの運行を取りやめ、城南まちづくり拠点施設は閉鎖して職員も避難します。万一のことを考え、避難が遅れた方のために城南小学校の3階を緊急避難場所として開放しますが、職員はいませんし、何日も浸水し続ける可能性が高いので、**目の前の命を救うための最後の手段**としてお考え下さい。

会長 なぜ急に今、このような想定図や避難対応になったのでしょうか？現在の揖斐川堤防、町屋川堤防では城南地区は守れないのでしょうか？

課長 ここのところ、「50年に1度の」とか「これまでに例のない」といった表現が用いられる風水害が年に何度も発生しています。そのため、国が水防法を改正してこのような浸水想定図の策定が県に義務付けられました。揖斐川堤防も町屋川堤防も城南地区を守るために作られましたが、昨年度は長野県の千曲川が揖斐・長良川の河口部と同じぐらいの川幅(約1km)がある場所で決壊するなど、最近では誰もが名前を知っている有名な一級河川の堤防が次々と決壊しています。これまでの常識が通用しない、想定外のことが起こるのが今の風水害だと考えてください。

会長 私たち特に城南地区の住民に一言アドバイスをお願いしたいのですが？

課長 城南地区は日本最大級の海拔ゼロメートル地帯の一角にあります。元来、水害に極めて弱いこの地で風水害から確実に命を救うための対策は「安全な場所への避難」しかありません。市が避難勧告や避難指示を発令したら、**迷わずに逃げてください**。そして、それが毎回無駄な避難に終わったとしても、それは“素振り”だと、“練習”だと思って、何度でも繰り返し、習慣化してください。最後に避難を習慣化させるためのアドバイスです。

どんなに多くても、避難勧告や避難指示が出るのは年に数回です。ならば、ご自身、ご家族が避難を前向きに考えられる、“快適な避難先、避難場所”をぜひ見つけておいてください。

ひとくち ニュース

①まち協事業：8月5日(水)から9日(日)まで『ラジオ体操でつなぐまちづくりin城南』を5か所で開催し、242名の参加を頂きました。参加ありがとうございました。

②まち協事業：8月9日(日)『KYT(危険予知トレーニング)』を初めて安永一丁目自治会さんを対象に安永文化会館で、11名の参加を頂き始めました。2自治会さんの申し込みがすでにあります。今後も参加申し込みを受け付けます。

お知らせ

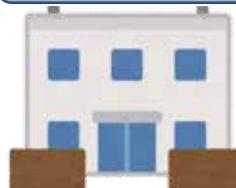
相談室



出張相談



城南まちづくり
拠点施設



私達、南部包括職員が交代して、皆様からの相談をお待ちしております。

開催日：第3水曜日
午前11時から12時まで
場 所：城南まちづくり拠点施設
1Fつながりセンター
(必要に応じて個室を用意)

相談内容：介護や健康の事、さまざまな相談事、ボランティアがしたい、認知症に関する事など…
どんなことでも相談してください。

相談
無料

相談日

9/16、10/21、11/18、12/16
令和3年1/20、2/17、3/17

お問合せ先 桑名市南部地域包括支援センター

電話 25-1011 Fax 25-1155

